

日仏セミナー「公証人職の将来」

L'avenir du notariat

séminaire franco-japonais

主催：パリ第13大学取引法研究所（I.R.D.A.）・早稲田大学比較法研究所

後援：フランス法務省付属・公益団体「法制・司法研究部門」

**Organisé par l'I.R.D.A. et l'Institut de droit comparé de l'Université Waseda
avec le soutien de La Mission de recherche Droit et Justice dans le cadre du
projet sur "l'avenir du notariat"**

日時：2014年9月21日（日曜日）

午後1時から午後6時20分予定

場所：早稲田大学早稲田キャンパス9号館（5階）第二会議室

序論 公証人職：その法的地位と職務

ムスタファ・メキ パリ第13大学教授

日本側コメント 横山美夏（京都大学教授）

第I部 公証人職の社会経済的機能

法的安全と公証人職

クリストフ・ヴェルニエール パリ第8大学教授

インド洋（レユニオン）の例

ジャン＝バティスト・スーブ レユニオン大学教授

日本側コメント 山城一真（早稲田大学准教授）

山野目章夫（早稲田大学教授）

吉田克己（早稲田大学教授）

第II部 公証人職の法的機能

公署性

マティアス・ラティナ トゥロン大学教授

日本側コメント 山野目章夫（早稲田大学教授）

鈴木尊明（立正大学特任講師）

通訳は付きません。フランス側参加者からの以上のテーマについての簡単な問題提起に続いて、日本側からフランス語でのコメントがなされ、その後フランス語で直接に議論が行われます。

問い合わせ先

吉田克己 katsumi.yoshida11@gmail.com

山城一真 yamashirokazuma@waseda.jp